

令和5年度(2023年) 年報



令和5年5月3日 五稜会病院の正面

医療法人社団 五稜会病院

令和5年は新型コロナ4年目、ようやく行動制限が解除された年でした。



令和5年度 年報報告

令和5年は悲しい出来事がありました。3月25日、田中捷子会長が78歳で永眠しました。突然のことで皆が驚きました。五稜会病院の創設者故田中稜一を陰から支え、令和4年に創立50周年を迎えるに至るまで病院の発展に尽力されました。また、7月27日には、中島公博理事長・院長のご母堂の中島宣子が97歳で逝去しました。理事長・院長がよく使っている「寝るのが一番」は、故中島宣子が日頃使っていた言葉です。お二人とも安らかに眠り下さい。心よりご冥福をお祈り致します。

さて、令和5年は、新型コロナCOVID-19の世界的流行が始まって4年目に突入しました。当院でも実施した新型コロナのワクチン接種が効を奏したのもあって、令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症は、これまで「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において「新型インフルエンザ等感染症」でしたが、「5類感染症」に位置づけられました。5類になったことで、コロナ禍以前のような経済活動を再開でき、感染してしまった際にかかりつけ医など一般の診療施設で受診できるようになりました。学会、研究会も対面形式に戻ってきています。観光客も増え、コロナ禍以前の水準になって、巷ではノーマスク姿が多くなってきました。

令和5年度は、37名の新人職員が入職しました。医師では、精神科はベテランの嶋岡修平先生と後期研修医の津田昇吾先生の2人が仲間に加わってくれました。嶋岡先生は、医療観察法の鑑定医取得、臨床薬理治験実施、各種講演会の講師を務めるなど、病院の臨床の充実に貢献しています。

今年も、学会、研究会にもたくさん参加しました。コロナもあけて、熊本で開催された日本精神科医学会、日本ストレスケア病棟研究会への参加、児童・思春期精神医学対策講習会や摂食障害研修などを行いました。また、特筆すべきこととして、3月に「**精神科教育動画（GMCPLM）ライブラリー**」を創設しました。これは、一般の人や医療者向けに、精神科医療全般にわたって知識を深めてもらい、少しでも、精神科医療についての理解が深まって頂けたらとの思いで開始したもので、理事長・院長が自らYouTubeにアップしています。患者さんだけではなく、職員の精神科関連の学習としてとても有用なものです。

令和5年度の理事長賞は、「2・3病棟携帯電話/スマホ解禁」と「五稜会病院教育動画ライブラリー開設」に決定しました。閉鎖病棟でも、通信の自由度を上げるためにも携帯電話/スマホ解禁は時代の流れとなりました。

令和5年度の忘年会は、実に4年ぶりの開催となりました。やはり対面での歓談は格別なものがあります。

五稜会病院は、令和4年12月に創立50周年を迎えましたが、令和5年3月に50周年記念事業の一環として記念誌を刊行しました。「ひとに優しい」五稜会病院が、今後50年続き、100周年を迎えることを祈念します。令和5年の年報が今後の病院の発展に寄与するようにご参考頂ければ幸いに存じます。

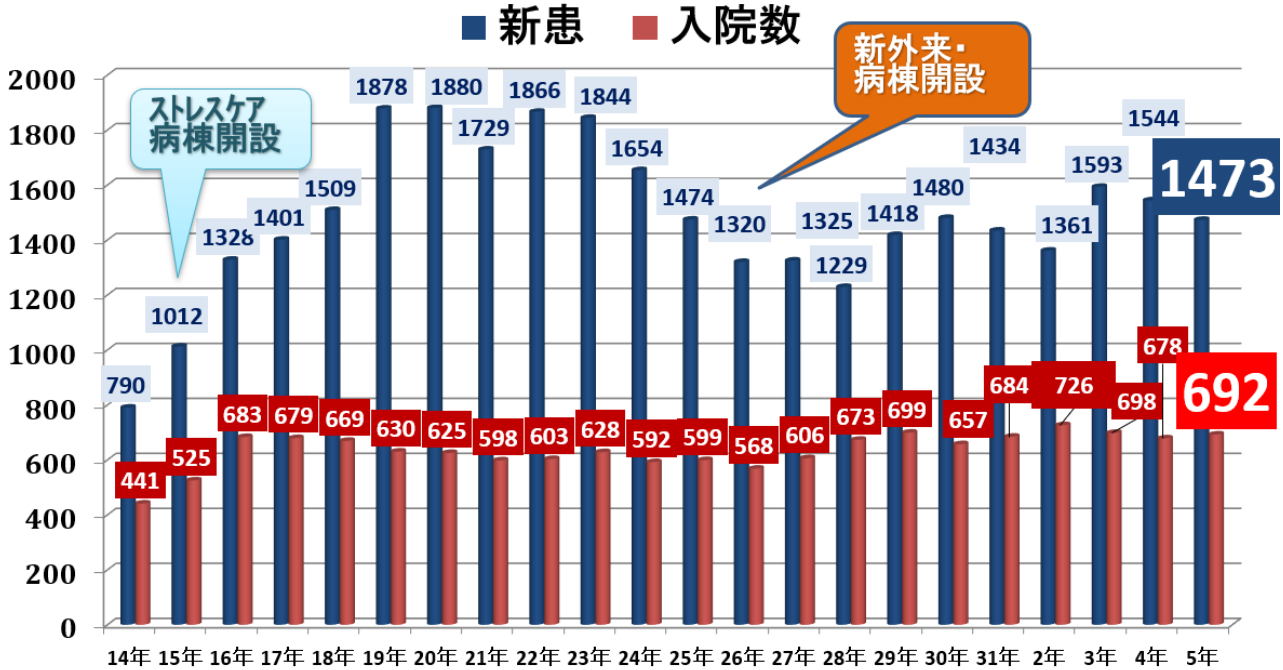
令和6年5月5日

理事長・院長 中島公博

診療実績 令和5年度

1 年度別新規患者数・入院者数

令和5年度の新規患者数は1473人で、令和4年度の1544人よりも少なくなりました。例年1400～1500人で推移しています。新規患者数が、1000人/年を超えたのは、平成15年にストレスケア思春期病棟を開設した年でした。平成18年～23年は、1800人/年に増加し、丁寧な診察が出来ないことから、新患は、平成25年6月から予約制にしています。外来の患者案内は病院では珍しいコンシェルジュが行っています。



2 令和5年度の月別初診・新規患者数・平均在院日数等

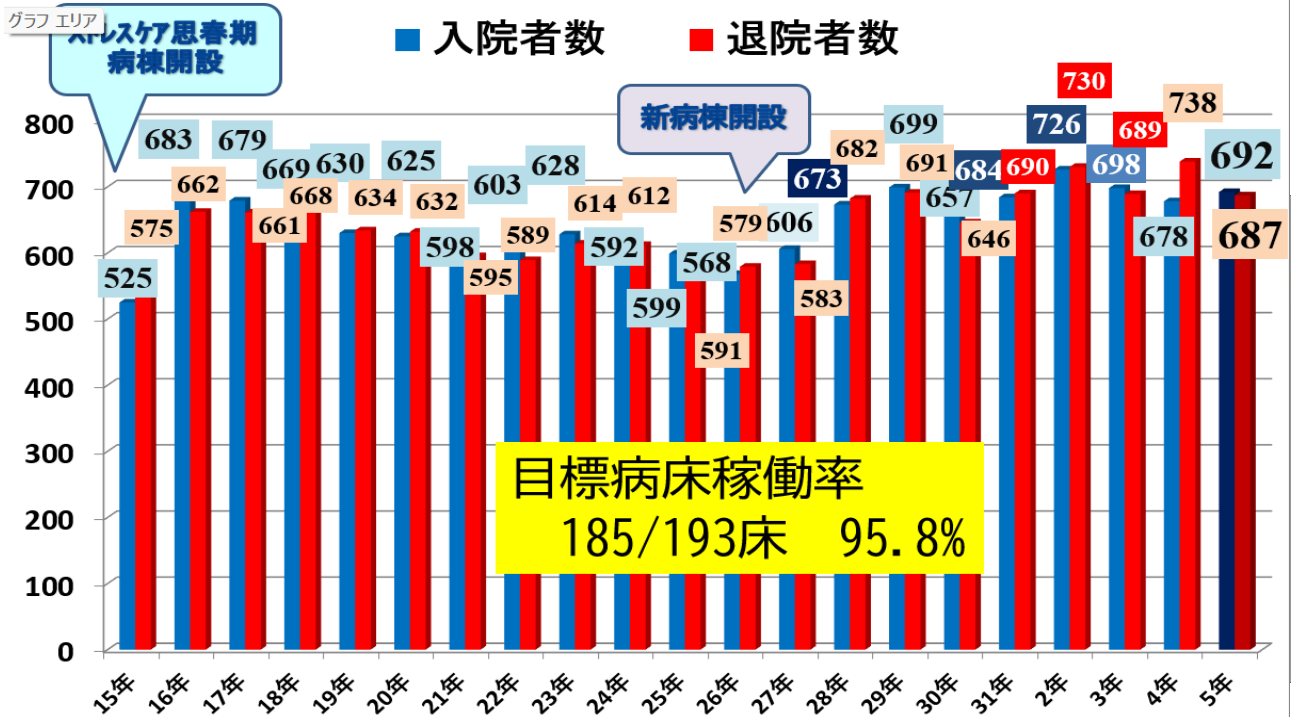
病床利用率は95%弱、平均在院日数は、97.7日と100日を切っている。時間外受診は166人であるが、時間外の電話相談をしているために少なくなっている。1日の外来者数は、デイケア通所者を含めて250人にのぼる。16歳・20歳未満加算が多い。

2023年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
診療日数	21	21	24	22	22	24	22	24	22	23	22	22	269
入院数	55	46	66	59	62	59	63	66	45	58	53	60	692
退院数	50	44	74	54	64	55	65	56	63	50	46	66	687
入院総数	230	226	248	233	241	236	244	245	234	229	232	246	237.0
1日平均在院日数	181.2	185.6	180.2	182.2	182.5	183.7	184.7	184.7	181.2	178	183.3	183	182.5
ベッド利用率	93.9%	96.2%	93.4%	94.4%	94.6%	95.2%	95.7%	95.7%	93.9%	92.2%	95.0%	94.8%	94.6%
平均在院日数	107	115.5	79.8	96.7	89.8	96.7	88.7	94.3	100.6	102.2	111	90	97.7
平均入院日数	62.8	86.4	83.8	74.2	123.9	69	84.9	64.9	55.3	63.8	139.3	171.2	90.0
初診患者数	164	177	195	199	208	216	170	196	180	194	184	196	2,279
新患数	87	98	106	116	109	121	118	131	115	120	108	108	1,337
患者延べ数	5277	5170	5983	5539	5755	5950	5786	6139	5717	5907	5786	5800	68,809
外来実人数	3486	3390	3630	3595	3619	3649	3605	3671	3672	3764	3715	3818	3,635
一日平均患者数	170.2	184.6	193	184.6	185.6	198.3	186.6	198	190.5	190.5	192.8	187.3	189
一日平均実数	251.3	246.2	249.3	251.8	261.6	247.9	263.0	255.8	259.9	256.8	263.0	263.6	256
時間外受診者	20	11	9	9	22	10	19	13	18	16	12	7	166
20歳未満加算	142	129	152	131	141	147	126	127	138	119	127	126	1,605
16歳未満加算	6	9	8	9	8	11	11	10	17	21	17	13	140

入院・退院患者統計

1 年度別入院者・退院者数

平成 16 年度の急性期病棟運用時から入院退院ともに 600 人台であった。令和 2 年度は、入退院者数ともに 700 人台になった。令和 5 年度は、入院 692 人、退院 687 人であった。



2 性別・年齢・病棟・診断別入院者数

性別では女性が 7 割近くを占める。入院者の年齢は 1 年齢は 12 歳～89 歳、平均年齢 37.6 歳である。年齢層は 10～40 代がそれぞれ 2 割を占める。10 歳代は 111 人(16.0%)と前年度の 122 人(18.0%)と比べて少なかった。30 歳代までで約 6 割を占めている。70 歳以上は 36 人(5.1%)であった。

診断別では、F2 (統合失調症圏)146 人(21.1%)、F3 (気分障害)209 人(30.2%)、F4(神経症圏)185 人(26.7%)。2 病棟(急性期病棟)では F2 が多く、5 病棟(ストレスケア・思春期病棟)では F3、F4 が多い。F0(認知症等)は、11 人と少ない。F8(発達障害)、F9(行為及び情緒の障害)は、10 代の患者が多いためである。入院形態では、任意入院が 560 人(80.9%)で、急性期病棟でも、6 割が任意入院である。鑑定入院は 4 人。

年代/病棟	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%	累計
10歳代	17	94	6	50	2	53	111	16.0%	16.0%
20歳代	26	117	16	53	5	69	143	20.7%	36.7%
30歳代	37	97	23	52	4	55	134	19.4%	56.1%
40歳代	53	66	18	59	1	41	119	17.2%	73.3%
50歳代	47	50	9	46	2	40	97	14.0%	87.3%
60歳代	24	28	4	26	3	19	52	7.5%	94.8%
70歳代	11	21	3	15	3	11	32	4.6%	99.4%
80歳代	1	2		3			3	0.4%	99.9%
90歳代	1			1			1	0.1%	100.0%
総計	217	475	79	305	20	288	692	100.0%	
%	31.4%	68.6%	11.4%	44.1%	2.9%	41.6%	100.0%		

F分類病棟	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
F0	4	7		7	1	3	11	1.6%
F1	11	4		11		4	15	2.2%
F2	55	91	9	121	6	10	146	21.1%
F3	76	133	14	76	6	113	209	30.2%
F4	31	154	11	51	1	122	185	26.7%
F5	27	21	37	4		7	48	6.9%
F6		7	1	4	1	1	7	1.0%
F7	1	8		9			9	1.3%
F8	10	26	5	8	2	21	36	5.2%
F9	2	24	2	14	3	7	26	3.8%
総計	217	475	79	305	20	288	692	100.0%

入院形態/病棟	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
任意	172	388	79	180	13	288	560	80.9%
医療保護	38	84		115	7		122	17.6%
応急		2		2			2	0.3%
緊急措置	1			1			1	0.1%
措置	2	1		3			3	0.4%
鑑定	4			4			4	0.6%
総計	217	475	79	305	20	288	692	100.0%

3 入院回数

初回入院が312人(45.1%)と5割弱である。2回目が124人(17.9%)、3回が60人(8.7%)、5回以上の入院者は154人(22.3%)である。

入院回数	1	2	3	4	5回以上	総計
総計	312	124	60	42	154	692
%	45.1%	17.9%	8.7%	6.1%	22.3%	100.0%

4 年代別診断分布

年代別の診断分布を示す。20歳代から50歳代にわたって、F2(統合失調症圏)、F3(気分障害)、F4(神経症圏)が多い。最も多いのは20歳代のF4である。次いで、30歳代F3の52人、10歳代F4の51人、20歳代F3の42人、40歳代のF2で40人である。10歳代のF8(発達障害)、F9(行為及び情緒の混合性障害)も併せて32人と多い。

年代F分類	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	総計
10歳代		1	9	8	51	9		1	16	16	111
20歳代		1	12	42	63	6	5	3	4	7	143
30歳代		1	28	52	24	15	2	2	7	3	134
40歳代	7	3	40	34	14	12		2	7		119
50歳代		7	27	37	21	4			1		97
60歳代		1	19	23	8	1					52
70歳代	2	1	9	13	4	1		1	1		32
80歳代	1		2								3
90歳代	1										1
総計	11	15	146	209	185	48	7	9	36	26	692

5 病棟別診断分布

2病棟は、F2が121人と多いが、F3、F4も多い。5病棟は、F2は10人と少なく、病棟の特徴を生かし、F3が113人、F4が122人と多くを占める。1病棟(開放療養病棟)、3病棟(閉鎖療養病棟)は、再入院者が入院している。1病棟では、睡眠障害の診断目的のPSGでの入院者がいる。

病棟F分類	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	総計
1病棟			9	14	11	37	1		5	2	79
2病棟	7	11	121	76	51	4	4	9	8	14	305
3病棟	1		6	6	1		1		2	3	20
5病棟	3	4	10	113	122	7	1		21	7	288
総計	11	15	146	209	185	48	7	9	36	26	692

6 紹介元病院・クリニック(敬称略)

紹介元の病院、クリニックを表に示す。692人の入院のうち半数は紹介患者である。次いで、札幌東徳洲会小田病院から12人、このうち10人は2病棟(急性期)での入院である。クリニックからは、令和3年度は9人であり、2病棟、5病棟に入院する患者さんが多かった。メンタルクリニックからは、エンジェルメンタルクリニック、こころメンタルクリニック、ともメンタルクリニック、南平岸内科クリニック、和光メンタルクリニックが多かった。いずれも、五稜会病院と病診連携を行っている医療機関である。ご紹介いただいた

紹介元(敬称略)	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計
ストレスアすすきのクリニック	1	1		11	13
札幌東徳洲会病院		10	2		12
エンジェルメンタルクリニック		4		3	7
こころメンタルクリニック	1			5	6
ともメンタルクリニック		3		3	6
南平岸内科クリニック		3		3	6
さっぽろ麻生メンタルクリニック	1			4	5
北海道医療センター		2	3		5
和光メンタルクリニック		3		2	5

こころと発達えるむの木	2		2		4
ことのはメンタルクリニック	3		1		4
さっぽろ元町メンタルクリニック	2		2		4
円山公園メンタルクリニック	3		1		4
勤医協中央病院	4				4
江別市立病院	1	2	1		4
札幌こどもメンタルクリニック	3		1		4
札幌なかまの杜クリニック	4				4
手稲溪仁会病院	4				4
あおぞらクリニック	2		1		3
サッポロファクトリーメンタルクリニック	1		2		3
さっぽろ駅前クリニック	3				3
光星ストレスケアクリニック	3				3
札幌地方検察庁	3				3
札幌中央メンタルクリニック			3		3
三浦メンタルクリニック			3		3
市立札幌病院			1	2	3
新さっぽろメンタルクリニック				3	3
麻生心療内科			3		3

退院患者

1 年齢・年代別・性別退院患者数

年齢は13歳～89歳、平均年齢37.5歳で前年同様。年代別では10歳代～40歳代が多く、この年代で3/4を占める。10歳代は133人(19.4%)と前年並である。70歳以上は40人(5.9%)と昨年よりも多かった。80歳代は8人のみである。女性が2/3を占める。全ての年代において女性の比率が高いが、年代別では10歳～20歳代での女性比率が高い。

2 入院期間

1～3960(11年)日、平均92.4日である。身体合併症のために総合病院に転院し、合併症治療が終わって当院に再入院している患者が24人いる。期間別では1ヶ月未満が218人(31.7%)、1ヶ月以上2ヶ月未満が149人(21.7%)、2ヶ月以上3ヶ月未満が214人(31.1%)である。3ヶ月未満の退院が84.6%、6ヶ月未満が93.4%、1年未満が97.1%である。1年以上は20人。5年以上の3人のうち1人(11年目)は高齢者施設に退院した。

年代	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%	累計
10歳代	21	112	18	41	11	63	133	19.4%	19.4%
20歳代	25	120	31	41	10	63	145	21.1%	40.5%
30歳代	41	83	30	36	6	52	124	18.0%	58.5%
40歳代	53	60	25	46	3	39	113	16.4%	75.0%
50歳代	38	42	16	24	8	32	80	11.6%	86.6%
60歳代	25	27	12	18	3	19	52	7.6%	94.2%
70歳代	10	22	10	11	3	8	32	4.7%	98.8%
80歳代	2	6	1	5	1	1	8	1.2%	100.0%
総計	215	472	143	222	45	277	687	100.0%	

入院期間/病棟	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%	累計
1ヶ月未満	72	146	57	88	8	65	218	31.7%	31.7%
1月以上2月未満	49	100	14	61	6	68	149	21.7%	53.4%
2月以上3月以下	62	152	24	55	3	132	214	31.1%	84.6%
3月超6ヶ月未満	20	41	21	18	11	11	61	8.9%	93.4%
6月以上1年未満	8	17	14		11		25	3.6%	97.1%
1年以上3年未満	3	11	10		3	1	14	2.0%	99.1%
3年以上5年未満		3	1		2		3	0.4%	99.6%
5年以上10年未満	1	1	2				2	0.3%	99.9%
10年以上		1			1		1	0.1%	100.0%
総計	215	472	143	222	45	277	687	100.0%	

3 退院時診断

F4(神経症圏)が191人と最多で、次いでF3(気分障害)190人、F2(統合失調症圏)が146人となっている。F8(発達障害)は38人、F9(行為及び情緒の混合性の障害・注意欠如多動性障害)は34人と多い。F5(摂食障害・睡眠障害等)は37人、F1(アルコール依存症等)は16人、F6(パーソナリティ障害)7人であった。

F分類/病棟	男	女	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
F0	7	14	2	7	3	9	21	3.1%
F1	12	4	3	10	1	2	16	2.3%
F2	52	94	32	83	21	10	146	21.3%
F3	70	120	27	50	7	106	190	27.7%
F4	36	155	34	40	3	114	191	27.8%
F5	19	18	27	1		9	37	5.4%
F6		7		4	2	1	7	1.0%
F7	1	6	2	5			7	1.0%
F8	11	27	7	8	4	19	38	5.5%
F9	7	27	9	14	4	7	34	4.9%
総計	215	472	143	222	45	277	687	100.0%

4 入院および退院した病棟

5病棟からの退院が277人、そのうち2病棟入院後に5病棟に転棟して退院したのは17人であった。これは、5病棟が急性期算定になったため、前年の55人よりも少なくなっている。5病棟入院後に他の病棟から退院したのは20人、2病棟に入院し1病棟の開放病棟転に転棟後の退院が50人、3病棟に転棟後の退院が22人であった。

入院病棟	退院時の病棟					総計	%
	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟			
1病棟	75		1	1	77	11.2%	
2病棟	50	214	22	17	303	44.1%	
3病棟	5	3	20		28	4.1%	
5病棟	13	5	2	259	279	40.6%	
総計	143	222	45	277	687	100.0%	
%	20.8%	32.3%	6.6%	40.3%	100.0%		

5 退院者の退院時・入院時の入院形態

退院時の入院形態は任意入院が632人(92.0%)と大多数である。52人が医療保護入院の退院で、2病棟から43人、3病棟から9人が退院している。入院時に任意入院で入ったが医療保護入院で退院したのが4人いる。124人の医療保護入院者のうち77人が任意入院で退院した。措置入院3人は退院時は任意入院で退院している。

退院時の入院形態	退院時の病棟					総計	%
	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟			
任意入院	143	176	36	277	632	92.0%	
医療保護		43	9		52	7.6%	
鑑定入院		3			3	0.4%	
総計	143	222	45	277	687	100.0%	

退院時の入院形態	入院時の入院形態					総計
	任意	医保	応急	措置	鑑定	
任意入院	552	77		3		632
医療保護	4	47	1			52
鑑定入院					3	3
総計	556	124	1	3	3	687

6 長期入院の退院者

3年以上入院して退院した6人の内訳を示す。5年以上3人、10年以上は1人であった。診断別では、F2が5人、F0(器質性)が1人。6人のうち3人が施設入所となって外来につながった。長期入院のために精神科病院に2人が転院し、1人が身体合併症治療のために総合病院に転院し、再度当院に戻っている。

年代	性	入院期間	回数	F分類	退棟	入院形態	退院形態	退院状態	転院	病院名
50歳代	女	3年以上5年未満	1	F0	3病棟	医保	任意	軽快	入院	江別市立
70歳代	女	10年以上	2	F2	3病棟	医保	医保	不変	入院	手稲病院
70歳代	男	5年以上10年未満	7	F2	1病棟	任意	任意	軽快	無	当院外来
60歳代	女	3年以上5年未満	10	F2	3病棟	医保	任意	不変	入院	札幌香雪
40歳代	女	3年以上5年未満	7	F2	1病棟	医保	任意	軽快	無	当院外来
70歳代	女	5年以上10年未満	3	F2	1病棟	任意	任意	軽快	無	当院外来

令和5年度 退院時満足度調査

1 対象

令和5年1月～12月までの退院者687人中、退院時に満足度調査の回答が得られた413人(60.1%)を対象に分析を行った。回収率の目標は80%である。1病棟、5病棟の回収率が低い。

対象者の基礎データ 413人

年齢 13歳～84歳(平均37.3歳)

性別 男 = 113(27.4%)

女 = 300(72.6%)

入院期間 2～3,126日 平均 90.8日

3ヶ月未満の入院期間が83.8%、6ヶ月未満93.0%、1年未満97.8%である。

入院回数 1～26回(平均3.4回)

診断別・入院形態

F4(神経症圏)が最多の29.3%を占める。次いで、F3(気分障害圏)27.6%、F2(統合失調症圏)24.9%の順である。

入院時の入院形態は92.5%が任意入院で医療保護入院は7.5%である。

2 方法

1. 入院治療についての全体的満足度 CSQ-8J (Client Satisfaction Questionnaire)
2. 入院時、入院中の治療に対する説明
3. 医師・看護婦などのスタッフに対する評価
4. 入院生活の快適さ
5. 家族の評価 等の調査を行っている。

3 結果(次ページの表)

全体的満足度は90.5%、家族では92.9%で、9割の方が満足であったと回答してくれている。ただし、不満足な方は満足度調査に協力してくれない場合もあるかもしれない。効果的な対処を学べたかが一番評価が高くて94.4%であった。これは、毎回高い値である。ストレス対処の仕方などカウンセリングや集団療法が奏功していると思われた。一方、低い項目は、入院生活の快適さ64.6%、緑の多さ54.4%であった。五稜会病院は、緑は多いはずであるが、季節的なものか。

性別・病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
退院者数	143	222	45	277	687	
回収数	62	163	35	153	413	
男	16	51	8	38	113	27.4%
女	46	112	27	115	300	72.6%
回収率	43.4%	73.4%	77.8%	55.2%	60.1%	

入院期間	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
1ヶ月未満	8	64	6	27	105	25.4%
1月以上2月未満	6	46	6	38	96	23.2%
2月以上3月以下	17	41	2	85	145	35.1%
3月超6ヶ月未満	13	12	10	3	38	9.2%
6月以上1年未満	12		8		20	4.8%
1年以上3年未満	4		2		6	1.5%
3年以上5年未満	1		1		2	0.5%
5年以上10年未満	1				1	0.2%
総計	62	163	35	153	413	100.0%

F分類/病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
F0		4	2	5	11	2.7%
F1	3	7	1	1	12	2.9%
F2	23	58	17	5	103	24.9%
F3	14	35	5	60	114	27.6%
F4	17	35	3	66	121	29.3%
F5		1		4	5	1.2%
F6		3	1	1	5	1.2%
F7	1	4			5	1.2%
F8	1	6	4	9	20	4.8%
F9	3	10	2	2	17	4.1%
総計	62	163	35	153	413	100.0%

退院時入院形態	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
任意入院	62	137	30	153	382	92.5%
医療保護		26	5		31	7.5%
総計	62	163	35	153	413	100.0%

項目	良くない	まあまあ	良い	大変良い	良い以上	%	計
1 治療の質	7	67	163	152	315	81.0%	389
2 望んだ治療か	9	36	218	124	342	88.4%	387
3 必要としたか	3	89	181	114	295	76.2%	387
4 推薦するか	11	36	250	86	336	87.7%	383
5 時間をかけた援助	7	51	175	152	327	84.9%	385
6 効果的な対処	4	17	198	159	357	94.4%	378
7 全体の満足	7	30	205	146	351	90.5%	388
8 治療に戻るか	18	51	215	97	312	81.9%	381
9 事務員の対応	10	62	164	150	314	81.3%	386
10 看護婦	7	33	144	203	347	89.7%	387
11 医師	9	49	136	191	327	84.9%	385
12 他のスタッフ	4	24	159	193	352	92.6%	380
13 入院の説明	9	32	148	190	338	89.2%	379
14 入院中の説明	5	36	141	166	307	88.2%	348
15 入院生活の快適さ	26	98	129	97	226	64.6%	350
16a 病室の広さ	19	67	223	46	269	75.8%	355
16b 廊下幅	2	62	239	51	290	81.9%	354
16c デイルーム	12	64	213	65	278	78.5%	354
16d 作業療法室	40	58	208	37	245	71.4%	343
16e 壁の色	8	67	224	55	279	78.8%	354
16f 緑の多さ	34	127	125	67	192	54.4%	353
16g 臭い	17	80	170	88	258	72.7%	355
16h 清潔度	11	67	168	108	276	78.0%	354
17 医療費	13	76	222	20	242	73.1%	331
家族の評価							
21 入院説明	2	2	67	141	208	98.1%	212
22 入院中の説明	6	15	85	100	185	89.8%	206
23 事務員	5	27	92	86	178	84.8%	210
24 看護師	3	12	81	114	195	92.9%	210
25 医師	2	23	83	101	184	88.0%	209
26 他のスタッフ	1	17	88	96	184	91.1%	202
27 医療費	5	51	137	11	148	72.5%	204
28 全体の満足	1	14	102	94	196	92.9%	211

全体満足"1"とつけた患者さん

7人の患者さんが全体満足度を「良くない」としているが、家族の満足度は高い場合もある。6人が2病棟(急性期)入院者である。3病棟(開放療養病棟)では1人、5病棟(ストレスケア・思春期病棟)はいない。不満に感じているが、外来は当院に通院している。なるべく満足度を上げたい。

年代	性	入院期間	回数	F分類	入棟	退棟	入院形態	退院形態	転院	病院名	家族の全体満足度
30歳代	女	1ヶ月未満	2	F0	3病棟	3病棟	任意入院	任意入院	無	当院外来	3
70歳代	女	2月以上3月以下	10	F2	2病棟	2病棟	任意入院	任意入院	無	当院外来	
50歳代	男	1ヶ月未満	1	F1	2病棟	2病棟	任意入院	任意入院	無	当院外来	1
50歳代	男	3月超6ヶ月未満	2	F1	2病棟	1病棟	任意入院	任意入院	無	当院外来	
20歳代	女	1ヶ月未満	1	F2	2病棟	2病棟	医療保護入院	医療保護入院	外来	クリニック	3
50歳代	女	2月以上3月以下	12	F2	2病棟	2病棟	医療保護入院	医療保護入院	無	当院外来	
50歳代	男	1月以上2月未満	1	F3	2病棟	2病棟	任意入院	任意入院	無	当院外来	2

臨床治験について

治験とは国から薬として承認を受けるために行う臨床試験のことです。

治験では、新しく開発された薬の人での有効性(効き目)や安全性(副作用)などを確認します。現在、世界中で数多くの薬が使われていますが未だに有効な治療薬がない病気も多くあります。これらの病気に対しては効果のある新しい薬の開発が必要です。そのため世界中で新しい医薬品の開発を目指して治験が行われています。当院では積極的に治験に取り組み、新たな薬剤開発に協力しています。

治験審査委員会(IRB)は毎月第3金曜日に開催し、治験内容について審議しています。

IRB 審議内容 毎月行っていますが、12月実施分を掲載致します。

1. 開催日時：西暦 2023 年 12 月 15 日 (金) 12:00 ~

2. 場 所：医療法人社団 五稜会病院 医局

出席者：中山 誠、津田 昇吾、吉野 賀寿美、鈴木 大輔、清水 勇基、田中 倉一、松田 雄介、
泉 純一、阿部 重子

9名中 / 名

3. 審議・報告内容-

1. 住友ファーマ株式会社より依頼
(治験実施施設：五稜会病院)

* 「SM-13496の青年期統合失調症患者を対象とした非盲検長期投与試験 [第3相試験] 【D1001069】」
審議事項：安全性情報

2. 大塚製薬株式会社より依頼
(治験実施施設：五稜会病院)

* 「大塚製薬の依頼による急性期の統合失調症患者を対象としたブレクスピプラゾール週1回製剤 (QW製剤) の第III相試験 【331-102-00062】」
審議事項：安全性情報、変更申請

3. 大塚製薬株式会社より依頼
(治験実施施設：五稜会病院)

* 「大塚製薬の依頼による統合失調症患者を対象としたブレクスピプラゾール週1回製剤 (QW製剤) の長期投与試験 【331-102-00063】」
審議事項：安全性情報

4. アヅィ合同会社より依頼
(治験実施施設：五稜会病院)

* 「急性増悪期の統合失調症を対象にしたCariprazineの有効性及び安全性を評価する6週間二重盲検プラセボ対照期及び18週間盲検継続投与期からなる試験 【M22-509】」
審議事項：安全性情報

5. ヴィアトリス製薬株式会社より依頼
(治験実施施設：五稜会病院)

* 「日本人の大うつ病性障害 (MDD) 又は持続性抑うつ障害 (PDD) の小児外来患者を対象としたベンラファキシンの有効性及び安全性を評価するプラセボ対照無作為化二重盲検多施設共同試験 【VENL-CAZ-3001】」
審議事項：安全性情報

6. ヴィアトリス製薬株式会社より依頼
(治験実施施設：五稜会病院)

* 「VENL-CAZ-3001試験を完了した日本人の大うつ病性障害 (MDD) 又は持続性抑うつ障害 (PDD) の小児外来患者を対象とした、ベンラファキシンの安全性及び有効性を評価する非盲検多施設共同長期継続投与試験 【VENL-CAZ-3002】」
審議事項：安全性情報

7. 住友ファーマ株式会社より依頼
(治験実施施設：五稜会病院)

* 「SEP-363856 の統合失調症患者を対象とした非盲検長期安全性試験 【DA801202】」
審議事項：安全性情報

8. 大塚製薬株式会社より依頼
(治験実施施設：五稜会病院)

* 「統合失調症患者を対象としたブレクスピプラゾール週1回製剤 (QW製剤) を単回投与したときの薬物動態に対する食事の影響を検討する、多施設共同、非盲検、無作為化、2群2期クロスオーバー試験 【331-102-00151】」
審議事項：安全性情報、変更申請

<次回 IRB 予定> ・ ・ ・ 2024 年 1 月 19 日 (金) 12 時 ~

令和 5 年度の司法精神医学関係の実績です。平成 22 年の刑事事件の本鑑定開始以来、平成 23 年には 4 件、平成 24 年は 2 件の実施でした。平成 26 年度は、新病棟完成で個室が増えたことから本鑑定入院も増加し、12 件でした。令和 3 年度は、本鑑定 2 件、医療観察法鑑定 1 件、簡易鑑定は 20 件と最多でした。令和 4 年度は、本鑑定 4 件、医療観察法鑑定なし、簡易鑑定は 13 件でした。令和 5 年度は、本鑑定 2 件、医療観察法鑑定 1 件、簡易鑑定 2 件と減りました。嶋岡修平診療部長が、令和 5 年度の医療観察法の研修を受け、鑑定医として登録されました。今後、鑑定業務は中島公博と嶋岡修平の 2 人体制で行います。

医療観察法審判の参与員として、今井佐千子 PSW が 1 件関わりました。平成 28 年度から、医療観察法の指定通院医療機関として計 4 名の患者の診療を行っています。

令和 4 年 4 月に北海道では初の医療観察法指定入院医療機関である北海道大学付属病院司法精神医療センターが開設されました。同センターの倫理委員会の委員として、中島公博と今井佐千子 PSW が担当しました。

本鑑定入院、簡易鑑定は、医療の質の向上にも寄与し、何よりも社会貢献になっています。

年 月	分類	分類2	回数	内容	場所	担当
2023 1	現住建造物等放火	本鑑定	66	60代男性、統合失調症	室蘭支部	中島公博
2023 1	倫理委員会出席	倫理委員会		北海道大学付属司法精神医療センター	札幌	中島公博
2023 3	倫理委員会出席	倫理委員会		北海道大学付属司法精神医療センター	札幌	今井佐千子
2023 3	殺人	本鑑定	67	80代男性、認知症	札幌	中島公博
2023 5	銃刀所持違反	簡易鑑定	126	20代男性、アルコール依存症	札幌	中島公博
2023 6	傷害	本鑑定	68	40代男性、統合失調症	札幌	中島公博
2023 8	倫理委員会出席	倫理委員会		北海道大学付属司法精神医療センター	札幌	今井佐千子
2023 9	倫理委員会出席	倫理委員会		北海道大学付属司法精神医療センター	札幌	中島公博
2023 10	医療観察法鑑定入院	医療観察	12	50代男性、統合失調症、殺人	札幌	中島公博
2023 10	医療観察退院審判	医療観察法参与員		50代男性、傷害、退院審判	札幌	今井佐千子
2023 12	不同意わいせつ	簡易鑑定	127	20代男性、精神遅滞	札幌	中島公博
2023 12	医療観察入院施設診察	医療観察		北海道大学付属司法精神医療センター	札幌	中島公博

令和5年度 倫理委員会

委員： 中島公博・吉野賀寿美・浮田志保・古瀬諒二・田中倉一 計5名 他オブザーバー

以下の日程(全体ミーティングの場合)で開催された。

回数	日時	審議内容	目的	提出者	所属
186	令和5年4月24日	精神科デイケアにおけるマインドフルネスプログラムの取り組み～オープングループのメリットとデメリット～(仮)	研究	越田志保	デイケア
187	令和5年4月26日	精神科病院におけるリハビリ志向での多職種連携～当事者が抱える日常生活での困難に対し多職種で関わったケースを通して～	北海道病院学会	鈴木大輔	看護管理部
188	令和5年5月9日	対処方略は職場環境のストレスの影響を緩和するか	日本認知・行動療法学会	中村 亨	EAPセンター
189	令和5年5月23日	精神疾患患者への睡眠ケア	専門誌「睡眠医療」	井端累衣	心理室
190	令和5年6月1日	デイケア就労支援プログラムにおけるゲスト(就労経験者)に関する考察	日本精神科医学会学術大会	近藤尚代	デイケア
191	令和5年6月8日	長期にわたり遷延した神経性過食症が家族の理解を得て改善した症例	日本精神科医学会学術大会	藤井美緒	心理室
192	令和5年6月24日	引きこもり傾向がある方の地域移行について	日本精神科医学会学術大会	安達佳代	医療相談室
193	令和5年8月15日	リハビリ退院支援パスの使用を通じた院内連携への取り組み	1病棟研究	小川園美	1病棟
194	令和5年8月31日	精神科入院治療におけるCBT-Iの活用	日本睡眠学会	井端累衣	心理室
195	令和5年9月12日	Family Work Dissemination in Japan	Meriden 25th Anniversary	吉野賀寿美	看護管理部
196	令和5年10月16日	ゲーム等依存に関する短期心理教育プログラムの実践	札幌市病院学会	澤田尚己	心理室
197	令和5年10月25日	長期入院患者の視点から見た、地域生活につながった効果的なケアの分析	1病棟研究	小貫達也	1病棟

学会・研究会発表

令和5年度

令和5年度も各種学会・研究会において、たくさん発表しました。令和4年まではコロナの関係でWeb講演・研修会が多かったですが、対面での学会が主流を占めました。日精協の学会は、熊本で開催されました。

年	月	日	演題名	回数	学会名	会場	演者	分類
2023	2	19	民間の単科精神科病院における電子カルテ上の文書管理の効率化を目指して	48	札幌市医師会医学会	札幌	中島公博	示説
2023	2	26	長期に亘る慢性疼痛に対して認知行動療法が奏功した一例	48	日本心身医学会北海道支部例会	札幌	宮村真季	口演
2023	3	1	摂食障害治療における栄養指導の役割	43	札幌市病院学会	札幌	高畑聖美	口演
2023	3	1	睡眠検査結果報告書の工夫～良質な睡眠に導くために～	43	札幌市病院学会	札幌	小田由美	口演
2023	6	2	本人と家族をまるごと支援！！メリデン版訪問家族支援とは？	48	日本精神科看護学術集会in札幌	札幌	鈴木大輔	ワークショップ
2023	6	2	当事者本人と家族のリカバリーを支える行動療法的家族療法の原則の重要性 ～メリデン版訪問家族支援によって、本人、家族、組織はどのように変わるのか	48	日本精神科看護学術集会in札幌	札幌	吉野賀寿美	ワークショップ
2023	6	2	当事者本人と家族のリカバリーを支える行動療法的家族療法の原則の重要性 ～メリデン版訪問家族支援によって、本人、家族、組織はどのように変わるのか	48	日本精神科看護学術集会in札幌	札幌	中島 甫	ワークショップ
2023	7	15	精神科病院におけるリカバリー志向での多職種連携－当事者が抱える日常生活での困難に対し多職種で関わったケースを通して－	22	北海道病院学会	札幌	鈴木大輔	口演
2023	7	15	精神科デイケアにおけるマインドフルネスプログラムの取り組み～オープングループのメリットとデメリット～	22	北海道病院学会	札幌	越田志保	口演
2023	7	15	当院看護師における教育体制の認識調査～職業キャリア成熟尺度を用いて～	22	北海道病院学会	札幌	安藤留美	口演
2023	9	15	精神科病院における入院患者に対するCBT-Iの活用	45	日本睡眠学会	横浜	井端累衣	シポジスト
2023	10	7	対処方略は職場環境のストレスを緩和するか	49	日本認知・行動療法学会	札幌	中村亨	示説
2023	10	12	精神科病院における虐待に関連して知っておくべき知識	12	日本精神科医学会	熊本	中島公博	シポジスト
2023	10	12	長期にわたり遷延した神経性過食症が家族の理解を得て改善した症例	12	日本精神科医学会	熊本	藤井美緒	口演
2023	10	12	引きこもり傾向がある患者の地域移行の経過について	12	日本精神科医学会	熊本	安達佳代	示説
2023	10	12	当院看護師の教育体制の認識調査～職業キャリア成熟尺度を用いて～	12	日本精神科医学会	熊本	安藤留美	示説
2023	10	24	精神科病院における虐待防止の取組に関して	35	東京精神科病院協会学会	東京	中島公博	シポジスト
2023	11	10	事例提供、グループディスカッション	15	北海道リワーク勉強会相互研修会	札幌	清水	口演
2023	10	21	中動的自己概念の展開	46	日本精神病理学会	東京	千丈雅徳	口演
2023	10	29	事例検討	25	日本ストレス病棟研究会	大阪	麻理、中川	事例
2023	10	18	The Meriden Family Programme, Birmingham & Solihull Mental Health NHS Foundation Trust, UK (オンライン)	25	meriden 25th Anniversary One Day Conference	UK	Kazumi Yoshino	口演
2023	11	25	事例検討 五稜会病院で行っている倫理カンファレンス		日本精神科病院協会北海道支部		小川園美	事例紹介

講演・講義

年	月	日	演題名	演者	講演会等名称	会場	分類
2023	1	18	当院における電子解析ソリューションMENTATの活用（鈴木りほ先生・智田文徳先生：未来の風せいわ病院）	中島公博	みんなで話そう、めんこいMENTAT	札幌	座長
2023	2	2	救急救命士養成課程「精神疾患」（29期）	富永英俊	札幌市消防局救急救命士養成所	札幌	講師
2023	2	4	精神保健福祉法改正と行動制限最小化にまつわる話題	中島公博	京都精神科病院協会講演会	京都	講師
2023	2	8	五稜会病院のLAI発足と展望（古瀬諒二：五稜会病院）	中島公博	これからの精神科医療を考える会考える会	札幌	座長
2023	2	8	精神科地域医療を見据えた五稜会病院のLAIチーム発足と展望	古瀬諒二	これからの精神科医療を考える会考える会	札幌	講師
2023	2	17	五稜会病院のうつ病復職支援”リワーク・アップ”の紹介と就労に関する話題	中島公博	Special Rework Interactive Meeting	札幌	講師
2023	3	14	統合失調症・双極性感情障害うつ症状におけるラッダの使い方（松本均彦：ねや川サトリム）	中島公博	統合失調症・双極性感情障害治療を考える in 札幌	札幌	座長
2023	3	14	「精神看護分野の”応援”を考える-その人らしさを支えるレトリ（札幌医科大学保健医療学部看護学科教授澤田いづみ）	吉野賀寿美	日精協北海道支部看護部長会	札幌	座長
2023	3	22	五稜会病院のLAIチーム発足と展望	古瀬諒二	大塚製薬社内研修会	札幌	講師
2023	4	1	「実臨床における遅発性ジスキネジアの潜在的頻度」（上田均）（コメンター：芦澤健/小林久美子）「統合失調症の単剤化を目指してN栄養精神医学を交えて」（奥平智之）	中島公博	ヤンセン(株)講演会	札幌	座長
2023	4	19	「精神科病棟における感染対策」（高濱正和：植木病院看護部長）「爪白癬診断と治療 最新の話題」（高橋英俊：高木皮膚科診療所院長）	中島公博	精神科病棟における感染症対策 in 北海道	札幌	座長
2023	4	20	令和5年4月精神保健福祉法改正と行動制限最小化の話題	中島公博	神奈川県精神科病院協会共催Web講演会	札幌	講師
2023	5	21	日本心理臨床学会 シンポジウム	広瀬慎一	日本心理臨床学会第15回地区研修会		講師
2023	5	20	支援者としての基本姿勢、怒りのコントロール	鈴木大輔	社会福祉法人緑伸会研修会	札幌	講師
2023	5	24	「小児期逆境体験とうつ病」（古瀬研吾：帯広厚生病院）	中島公博	現代人のメンタルヘルスを考える会	札幌	座長
2023	6	4	How Effectively can we work for the Dissemination of Cognitive Behavior Therapy in “CBT Emerging Societies”	坂野雄二	世界認知行動療法会議 WCCBT2023	ソウル	講師
2023	6	26	薬剤だけじゃない！腸内環境から考える“こころと身体”のケア	古瀬諒二	太陽化学(株)メディケア事業	札幌	講師
2023	6	30	「東京都立松沢病院における身体拘束最小化～その先にあるもの～」東京都立松沢病院：今井淳司先生	中島公博	急性期統合失調症における講演会	札幌	座長
2023	6	30	より良い統合失調症治療を目指して ロゼテブ 症例提示	嶋岡修平	急性期統合失調症における講演会	札幌	講師
2023	7	5	精神科地域医療を見据えた五稜会病院のLAIチーム発足と展望：古瀬諒二、精神科地域医療を見据えた五稜会病院のLAIチーム発足と展望：嶋岡修平	中島公博	多職種で関わる統合失調症治療を考える会	札幌	座長
2023	7	5	精神科地域医療を見据えた五稜会病院のLAIチーム発足と展望	古瀬諒二	多職種で関わる統合失調症治療を考える会	札幌	講師
2023	7	5	リカバリを意識した統合失調症治療～LAIの位置づけ～	嶋岡修平	多職種で関わる統合失調症治療を考える会	札幌	講師
2023	7	12	五稜会病院における虐待防止の実際の活動について	吉野賀寿美	桜ヶ丘記念病院虐待防止研修会	札幌	講師
2023	7	12	精神科病院における虐待防止に関する話題	中島公博	桜ヶ丘記念病院虐待防止研修会	札幌	講師
2023	7	19	令和4年改正精神保健福祉法の概要と医師の働き方改革	中島公博	MeijiSeikaファルマ社内勉強会	札幌	講師
2023	8	6	五稜会病院における青年期統合失調症の治験概要と同意取得する上での工夫	中島公博	住友ファーマ治験(青年期SM13496)研究会	札幌	講師
2023	8	23	ビデンスに基づく双極性感情障害の薬治療（岸太郎）座長：澤山浩之	中島公博	札幌市精神科医学会学術WEB講演会	札幌	会長挨拶
2023	8	28	五稜会病院におけるLAIチーム発足後の活動状況	古瀬諒二	ヤンセンファーマ社内勉強会	札幌	講師
2023	9	25	発達障害と似て非なる人たち（加藤進昌）	中島公博	Psychiatry Special Seminar from Sapporo	札幌	座長
2023	9	25	認知機能を意識した統合失調症治療～ラッダの位置づけ～	中島公博	Psychiatry Special Seminar from Sapporo	札幌	座長
2023	9	25	認知機能を意識した統合失調症治療～ラッダの位置づけ～	嶋岡修平	Psychiatry Special Seminar from Sapporo	札幌	講師
2023	9	27	統合失調症治療におけるレキサルティの位置づけ	嶋岡修平	OTUKA WEB SEMINAR	札幌	講師
2023	10	4	精神科病院における虐待防止に関連して知っておくべき知識	中島公博	今後の精神科医療を考える会	札幌	講師
2023	10	14	精神疾患（統合失調症・うつ病・双極症）と好発時期（木の花メンタルクリニック新田活子先生）・発達障害の理解と支援（ときわ病院館農勝）	中島公博	北海道市民公開講座～メンタルヘルスを考える～	札幌	座長
2023	10	20	精神科病院における虐待防止に関する話題	中島公博	日本精神科病院協会岩手支部看護部長会研修会	札幌	講師
2023	10	26	うつ病治療の考え方	嶋岡修平	ガイアリス製薬社内勉強会	札幌	講師
2023	10	31	今、必要とされているワーク（さっぽろ駅前クリニック：横山太範）	中島公博	うつ病ワークオンラインセミナー from さっぽろ	札幌	座長
2023	11	3	実施医療機関での症例取組アクション	中島公博	カブジンInvestigator Meeting		ファシリテーター
2023	11	16	最近の精神科医療の話題と五稜会病院の取組	中島公博	ヤンセンファーマ社内勉強会	札幌	講師
2023	12	2	精神科領域における障害福祉サービスについて～自立支援・手帳・障害支援区分・年金～	中島公博	札幌市医師会家庭医学講座	札幌	講師
2023	12	4	救急救命士養成課程「精神疾患」（30期）	富永英俊	札幌市消防局救急救命士養成所	札幌	講師
2023	12	14	公認心理師カリキュラムにおける実習についての心構え及び心理療法ワークショップ	坂野雄二	札幌国際大学人文学部心理学科		講師
2023	12	20	①LAIチーム（古瀬諒二）②アレクス・プログラー（嶋岡修平）	中島公博	OTHUKA WEB SEMINAR		座長
2023	12	20	双極性障害における五稜会病院のLAIチーム発足と展望	古瀬諒二	OTHUKA WEB SEMINAR		講師
2023	12	20	統合失調症治療におけるアレクス・プログラーの位置づけ	嶋岡修平	OTHUKA WEB SEMINAR		講師

令和5年度の学会誌、医学雑誌ならびに雑誌に掲載された当院関連の論文、記事は以下の通りです。論文は大きな業績になりますので、チャレンジして下さい。

題名	著者	雑誌名	YEAR	VOL	PAGE
時評：令和5年4月、改正精神保健福祉法施行	中島公博	日精協誌	2023	4	71-72
精神保健福祉法改正に伴う虐待防止研修会用コンテンツの作成	中島公博	日精協ニュース	2023	6	4
精神疾患患者への睡眠ケア	井端累衣	睡眠医療	2023	9	
障害福祉サービス等報酬改定検討チームにおける関係団体とアライグマについての報告	中島公博	日精協ニュース	2023	10	
常任理事就任のご挨拶	中島公博	日精協誌	2023	42	16
民間の単科精神科病院における電子カルテ上の文書管理の効率化を目指して	中島公博	札幌市医師会医学会誌	2023	48	67-68
精神科病院における虐待防止の取組に関してー精神科病院における虐待防止の取組について知っておくべきことー	中島公博	季刊東京精神科病院協会誌	2023		34-36
CNSが職員の成長をサポート		北海道医療新聞	2023	3	20
明るく開放的な環境で心の病の早期治療と社会復帰を支援 五稜会病院		財界さっぽろ	2023	3	
ストレスケア・思春期・復職支援プログラムで充実の治療と環境を提供 五稜会病院		クオリティ	2023	4	
五稜会動画ライブラリー開設 幅広い視点で精神科医療を紹介		北海道医療新聞	2023	5	15
睡眠検査報告書にハズシート追加：五稜会		北海道医療新聞	2023	6	5
管理栄養士との関わり強化へ 集団栄養指導に多職種が参加		北海道医療新聞	2023	6	26
動画ライブラリー開設 幅広い視点で精神科医療を紹介 五稜会病院		暮らしと健康の月刊誌 ケア	2023	7	
精神保健福祉士 「生きづらさを抱える人を支えたい」阿部冴梨（五稜会病院）		お仕事まるわかり事典 2023北海道版	2023		

心理・医局勉強会

毎月、第2、第4木曜日の8時半から医局で開催しています。医師と心理士です。どなたでも参加できますので、興味のある方はどうぞ。あまり、臨床的にとらわれず、現時点で役に立たないようなことでも精神科に多少関係があれば、演者の興味・趣味に任せています。

No	日時	テーマ	担当者	分類
第498回	令和5年1月5日	症例発表 囑託殺人後自殺未遂を起こした20代男性	田辺	医師
第499回	令和5年1月19日	痴漢外来—性犯罪と闘う科学—	澤田	心理
第500回	令和5年2月2日	ADHDと睡眠障害	貴志	医師
第501回	令和5年2月16日	知能検査、発達障害の検査について	広瀬	心理
第502回	令和5年3月9日	システム論を踏まえたアプローチ	中島悠	医師
第503回	令和5年3月23日	危機状況での面接（解決のための面接技法 第10章）	藤井	心理
第504回	令和5年4月13日	ストレスに負けない自分になる	中野	医師
第505回	令和5年4月27日	思春期の行動を引き出す対話法	松原	心理
第506回	令和5年5月11日	月経前不快気分障害（PMDD）	富永	医師
第507回	令和5年5月25日	ストレング・トーク行動の問題を持つ子どもを支え・育てる	中越	心理
第508回	令和5年6月8日	虐待防止についての最新の話	中島	医師
第509回	令和5年6月22日	対処方略は職場環境のストレスを緩和するか	中村	心理
第510回	令和5年7月13日	精神障害・発達障害の方が働く時のQ&A	清水	心理
第511回	令和5年7月27日	付加価値のつくりかたからの学び	津田	医師
第512回	令和5年8月10日	ASDの学習スタイル	木谷	心理
第513回	令和5年8月24日	行動遺伝学	田上	医師
第514回	令和5年9月14日	高齢者のうつ病（自殺問題から考える）	嶋岡	医師
第515回	令和5年9月28日	ひきこもりの家族支援	宮村	心理
第515回	令和5年10月12日	対話がひらく多職種連携 -当院の本人参加カンファレンスと多職種連携-	鈴木	CNS
第516回	令和5年10月26日	症例検討 性暴力被害の1例	田辺	医師
第517回	令和5年11月9日	ゲーム・スマホ・ネット依存短期心理教育プログラムのとりくみ	澤田	心理
第518回	令和5年12月14日	刑事施設における精神科医療について	貴志	医師
第519回	令和5年12月28日	場面緘黙のアセスメントと支援について	広瀬	心理

薬理勉強会

製薬会社がスポンサーになってくれて、薬剤に関する勉強会です。医局で不定期に開催しています。

No	日時	テーマ	協賛
第312回	令和5年1月17日	インチュブ	塩野義製薬(株)/武田製薬(株)
第313回	令和5年1月19日	トリンテリックス	ルントベック(株)/武田製薬(株)
第314回	令和5年1月24日	エネリート輸液	大塚製薬工場(株)
第315回	令和5年1月31日	ジスハル(遅発性ジスキネジア)	吉富(株)・ヤンセン(株)
第316回	令和5年2月1日	ジスハル(遅発性ジスキネジア)	吉富(株)・ヤンセン(株)
第317回	令和5年2月7日	ゲーフィス・モビコル、レキサプロ	持田製薬(株)
第318回	令和5年2月14日	「統合失調症治療薬としてのSDAラツターを再考する」昭和大学：高塩理	住友ファーマ(株)
第319回	令和5年2月21日	ビハンテ	武田製薬(株)
第320回	令和5年3月10日	ジスハル(遅発性ジスキネジア) 和歌山大学	吉富(株)・ヤンセン(株)
第321回	令和5年3月28日	ヒノラ(口腔用ジェル)	大塚製薬工場(株)
第322回	令和5年4月11日	デエビゴ	エザイ(株)
第323回	令和5年4月24日	ラツター	住友ファーマ(株)
第324回	令和5年4月26日	エネリート輸液 看護師向け手技	大塚製薬工場(株)
第325回	令和5年4月27日	LAI手技 看護師向け	ヤンセン(株)
第326回	令和5年5月9日	トリンテリックス	ルントベック(株)/武田製薬(株)
第327回	令和5年5月15日	インチュブ	武田製薬(株)
第328回	令和5年5月23日	OS-1、イノラス	大塚製薬工場(株)
第329回	令和5年6月22日	看護師手技説明会(LAIチーム)	ヤンセン(株)
第330回	令和5年5月31日	ラツター	住友ファーマ(株)
第331回	令和5年6月5日	ラツター	住友ファーマ(株)
第332回	令和5年6月6日	ビハンテ	武田製薬(株)
第333回	令和5年6月13日	シクレト舌下錠	Meiji Seikaファルマ(株)
第334回	令和5年6月19日	エムガルティ(片頭痛治療薬) 注射講習	日本イーライリリー(株) + 第一三共
第335回	令和5年6月20日	レイボ- (片頭痛治療薬)	日本イーライリリー(株) + 第一三共
第336回	令和5年6月27日	インチュブ	武田薬品工業(株)
第337回	令和5年7月3日	ゾコハ これからのCOVID-19診療 関西医科大学教授宮下修行	塩野義製薬(株)
第338回	令和5年7月4日	人参栄養等	ツムラ(株)
第339回	令和5年7月11日	イノラス配合経腸用液	大塚製薬工場(株)
第340回	令和5年7月14日	イフェクサーSR Web講演会「認知行動療法を活用したうつ病治療」慶應大学：菊地俊暁	グアイアトリス+住友ファーマ
第341回	令和5年7月18日	レキサルティ	大塚製薬(株)
第341回	令和5年7月27日	ジスハル(遅発性ジスキネジア)	吉富(株)・ヤンセン(株)
第342回	令和5年7月27日	CVPPP 看護者向け研修会	吉富(株)・ヤンセン(株)
第343回	令和5年8月1日	ビハンテ	武田製薬(株)
第344回	令和5年8月22日	レキサルティ	大塚製薬(株)
第345回	令和5年8月29日	セプロリオン	ヤンセン(株)
第346回	令和5年9月12日	ラツター	住友ファーマ(株)
第347回	令和5年9月14日	セプロリオンTRI	ヤンセン(株)
第347回	令和5年9月19日	インチュブ	武田薬品工業(株)
第347回	令和5年9月21日	うつ病に対するホルチオセチンの治療学的位置付け (岸太郎：藤田医科大学准教授)	武田製薬(株)
第347回	令和5年9月26日	アミティーザ	グアイアトリス(株)
第347回	令和5年9月28日	エビリファイLAI	大塚製薬(株)
第347回	令和5年10月3日	タリジェ	第一三共(株)
第347回	令和5年10月17日	ラツター	住友ファーマ(株)
第347回	令和5年10月24日	インチュブ	武田薬品工業(株)
第347回	令和5年10月27日	トリンテリックス	ルントベック(株)/武田製薬(株)
第348回	令和5年10月31日	ゲーフィス・モビコル	持田製薬(株)
第349回	令和5年10月31日	FACEDUO	大塚製薬(株)
第350回	令和5年11月1日	インチュブ	武田薬品工業(株)
第351回	令和5年11月10日	ジスハル(遅発性ジスキネジア)	吉富(株)・ヤンセン(株)
第352回	令和5年11月14日	ラツター	住友ファーマ(株)
第353回	令和5年11月16日	セプロリオン	ヤンセン(株)
第354回	令和5年11月28日	エムガルティ・レイボ-	日本イーライリリー(株)
第355回	令和5年12月8日	ラツター	住友ファーマ(株)
第356回	令和5年12月12日	ミヤBM	ミヤサン製薬(株)
第357回	令和5年12月21日	アミティーザ	グアイアトリス(株)

令和5年度は平成19年からのプロジェクトX+17年として、
以下を行いました。

1. 新外来・新棟運用9年目、多目的ホールの積極的運用
2. ストレスケア思春期病棟病棟、急性期病棟医師加算算定となる（令和5年2月）
3. 急性期病棟スーパー救急に準じた運用継続（急性期病棟医師加算算定）
★クロザピン使用 6例/年
4. 五稜会病院精神科教育ライブラリ開設（令和5年3月）
5. 治験業務推進（新薬創出への貢献） 統合失調症・うつ病
6. 司法精神医学（本鑑定入院・簡易鑑定・医療観察法鑑定入院・指定通院）
6. 各種学会・研究会・研修会・勉強会参加（Web講演会・講習会）
7. SDGs宣言（令和5年4月19日）

編集後記

令和5年の年報が完成しました。令和5年は、5月に新型コロナが「5類感染症」に分類され、ようやく行動制限がなくなったなかで歓迎会や学会や研究会も対面となり、今まで通りの生活になったようでした。でも、病院内ではマスクの解禁とまでは行きません。ころがいつまで続くのかは世の中の成りゆき次第です。

令和5年3月に50周年記念誌の完成、3月に精神科教育動画ライブラリーの開設、5月にはSDGs宣言など新しいことにもチャレンジしました。常に精神科医療を創造して行きたいとの思いです。寂しい出来事もありました。令和5年は3月と7月に相次いで田中捷子会長と理事長・院長のご母堂中島宣子が永眠しました。

1年間の五稜会病院の軌跡を亡き2人に捧げたいと思います。
年報の執筆にあたった皆様、そして職員全員にお疲れ様ですと申し上げます。

中島公博

令和6年5月5日 発行
編集責任者 中島公博
非売品 部数限定